The 18th Annual Meeting of Japan Society of Rural and Remote Area Nursing

自然を内包する雪国の包括ケア

～圧倒的な雪に生きる～

©津南町観光協会

日本ルーラルナーシング学会
第18回学術集会

学術集会長　平澤則子（長岡崇徳大学）

2023

9.23㊏ 学術集会

9.24㊐ エクスカーション

会場：ニュー・グリーンピア津南

〒949-8313新潟県中魚沼郡津南町秋成

演題登録期間

2023年4月21日（金）～6月23日（金）

演題申込方法

https://jsrural18.studio.site/

参加申込期間

2023年4月17日（月）～8月25日（金）

基調講演

『地域全体で一つの病院の実現
～魚沼二次医療圏の将来』
布施　克也氏（新潟県魚沼市立小出病院長）

シンポジウムⅠ

『“このまちで暮らし続ける”をかなえる豪雪地の看護』

日下　雅美氏(山形県小国町立病院看護部)
看護の力でつながる町づくり

柴田万智子氏（岐阜県立看護大学）
関ケ原町看護小規模多機能型居宅介護の開設

星名由紀子氏（新潟県津南町役場）
雪国の住民が取組む介護予防

セミナー

『施設からまちへ ～豪雪地の 家ごとまるごと支援～』
吉井　靖子氏（長岡こぶし園名誉園長）

シンポジウムⅡ

『多様な主体による心地よい暮らしの実現』
妻有地域包括ケア研究会/株式会社雷神/
妻有の里 地域医療・地域ケアを支え隊/

学術集会事務局

長岡崇徳大学看護学部看護学科内
〒940-2135新潟県長岡市深沢町2278番地8
TEL：0258－46－6666
E-mail:jsrural18@sutoku-u.ac.jp

共催：長岡崇徳大学、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団